

目次

研究の概要.....	1
1 自然共生型国土の形成に関する系譜.....	9
1.1 国土・社会の変遷と現状の課題.....	9
1.1.1 日本の人口の変遷.....	9
1.1.2 都市生活・社会システムにおける課題.....	12
1.1.3 流域環境における課題.....	14
1.2 自然共生型社会や流域圏に関わるこれまでの政策・実践の取り組み.....	20
1.2.1 国土計画の経過からの考察.....	20
1.2.2 都市地域計画としての流域圏計画.....	22
1.3 本研究と国家科学技術戦略（イニシアティブ）との関係.....	26
1.3.1 科学技術の国家戦略としての位置づけ.....	26
1.3.2 自然共生イニシアティブのアウトカムのイメージ例.....	26
1.3.3 自然共生イニシアティブでの研究開発内容.....	30
2 自然共生型国土形成に向けた施策展開の考え方.....	33
2.1 自然共生型国土を考える視点.....	33
2.2 自然共生型国土の再構築へのプロセス.....	36
2.3 自然共生型国土の実現に向けた本研究成果の活用.....	41
2.3.1 検討プロセスと個別研究成果の関係.....	41
2.3.2 ビジョンの検討におけるモデルの位置づけと留意点.....	42
2.3.3 ビジョン設定の基本方針、ビジョンの評価軸の設定.....	43
2.4 シナリオの評価のための基本条件についての将来イメージ.....	45
3 個別研究成果.....	61
3.1 情報基盤の整備と活用.....	61
3.1.1 国土共通基盤 GIS データベースの開発.....	61
3.1.2 流域圏診断技術の開発.....	87
3.2 流域圏・都市管理モデルの構築.....	139
3.2.1 流域圏を対象とした水物質循環モデル.....	139
3.2.2 合流式下水道の分布型汚濁負荷解析モデル.....	213
3.2.3 生態系予測モデルの開発.....	266
(A) 陸域生態系モデル.....	266

(B) 水域生態系モデル	286
3.3 環境再生技術の開発	307
3.3.1 環境ホルモン等の効率的なオゾン処理技術の開発	307
3.3.2 保水性舗装・雨水貯留技術の開発	327
3.3.3 エコロジカルネットワーク保全・回復の計画・設計技術の開発.....	349
3.4 政策シナリオの実践への支援技術の開発.....	375
3.4.1 社会一体型施策立案手法の提案	375
3.4.2 地域との協働による自然共生型社会の実践.....	393
3.4.3 都市再生における景観・制度の分析.....	409
4 自然共生型国土形成シナリオの検討	455
4.1 東京湾流域を対象にしたケーススタディ	455
4.1.1 課題の整理	455
4.1.2 東京湾流域圏再生シナリオの条件設定	465
4.1.3 シナリオの定量評価.....	467
4.1.4 実践に向けた方策の吟味・総合評価.....	485
4.1.5 まとめ.....	498
4.2 霞ヶ浦流域を対象にしたケーススタディ	500
4.2.1 課題の整理	500
4.2.2 霞ヶ浦流域圏再生シナリオの条件設定	510
4.2.3 シナリオの定量評価.....	512
4.2.4 実践に向けた施策の評価.....	532
4.2.5 モデル適用のあり方という観点からのまとめ	537
4.3 水と緑からの都市再生シナリオの検討.....	540
4.3.1 全体の概要	540
4.3.2 鎌倉市神戸川流域における流域圏プランニング	542
4.3.3 パレスゾーン（皇居）とその周辺地域の都市再生シナリオ	547
4.3.4 東京湾ウォーターフロントの再生	560
4.3.5 渋谷川の再生 都市内河川再生型まちづくり	576
5 まとめ.....	593

巻末資料